

## 健康横浜21推進会議 食育推進検討部会委員名簿

五十音順

	氏名	所 属
1	天貝 徹	一般社団法人 横浜市医師会 常任理事
2	飯 笹 光男	NPO法人 横浜ガストロノミ協議会 理事長
3	池本 磨里世	一般社団法人 ラシク045
4	今井崎 理沙	一般社団法人 横浜市歯科医師会 常任理事
5	岩本 かおり	公益社団法人 神奈川県栄養士会
6	金子 佳代子	横浜国立大学 名誉教授
7	君塚 義郎	株式会社 崎陽軒 常務取締役
8	小島 雅裕	横浜市場プロモーション委員会 副会長
9	菅 千明	はまふうどコンシェルジュ
10	長島 由佳	ユカナガシマ・クッキングサロン
11	松谷 英司	一般社団法人 横浜市食品衛生協会 副会長
12	望月 選	一般社団法人 F・マリノススポーツクラブ 理事
13	守屋 努	JA横浜 組織部 組織生活課 課長
14	吉泉 英紀	公益財団法人 よこはま学校食育財団 理事長
15	米山 かおる	横浜市食生活等改善推進員協議会 会長

## 食育推進関係課長会議 委員名簿

令和7年4月現在

区局	補職	氏名
1 緑区	福祉保健課長	森下 太幹
2 戸塚区	こども家庭支援課長	鋪 歓奈
3 経済局	中央卸売市場本場 経営支援課長	三浦 武志
4 こども青少年局	企画調整課長	原 弘岳
5 こども青少年局	保育・教育支援課長	大槻 彰良
6 こども青少年局	地域子育て支援課 親子保健担当課長	奥津 秀子
7 健康福祉局	企画課長	松村 健也
8 医療局	食品衛生課長	及川 知子
9 みどり環境局	農業振興課長	澤田 悅子
10 資源循環局	3R推進課長	今村 貴美
11 教育委員会事務局	学校給食・食育推進課 首席指導主事	三村 太郎

### 事務局（健康推進課）

局	補職	氏名
健康福祉局	健康推進課担当課長	釜谷 美江
	健康推進課担当係長	山口 拓真
	係員(栄養士)	鈴木 礼子
	係員(栄養士)	山田 薫
	係員(事務職)	遠田 昴史

## 食育推進検討部会設置要綱

制定 令和3年3月23日 健保事第4009号（局長決裁）  
最近改正 令和5年3月24日 健保事第3956号（局長決裁）

### （目的）

第1条 この要綱は、食育の推進に関して専門的見地から検討するため、健康横浜21推進会議運営要綱（以下「要綱」という。）第7条第1項に基づき設置する「食育推進検討部会」（以下「検討部会」という。）の運営に関し必要な事項について定めるものとする。

### （検討事項）

第2条 検討部会は、次の事項について検討を行うものとする。

- (1) 食育推進計画の策定に関する事項
- (2) 食育の推進に関する事項
- (3) その他必要な事項

### （構成）

第3条 検討部会は、要綱第7条第2項に基づき、健康横浜21推進会議（以下「推進会議」という。）の委員及び要綱第4条に基づき市長が任命した臨時委員のうちから推進会議の会長が指名する者をもって組織する。

### （任期）

第4条 委員の任期は2年以内とする。ただし、委員に欠員が生じた時の補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることがある。

### （部会長等）

第5条 検討部会に部会長及び副部会長を置く。

- 2 部会長は、委員の互選によりこれを定める。副部会長は、委員の中から部会長が指名する。
- 3 部会長は、検討部会を代表し、会務を掌理する。
- 4 副部会長は、部会長が欠けたとき、その職務を代理する。

### （会議）

第6条 検討部会の会議は、部会長が招集する。ただし、委員任命後、部会長選出前の検討部会の会議は、推進会議の会長が招集する。

- 2 部会長は、検討部会の会議の議長とする。
- 3 検討部会は、委員の過半数の出席により開催する。
- 4 検討部会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数の場合は、検討部

会の部会長の決するところによる。

5 検討部会を欠席する予定の委員は、第2条に関する意見を書面により事前に提出することができる。

(会議の公開)

第7条 横浜市の保有する情報の公開に関する条例（平成12年2月横浜市条例第1号）

第31条の規定により、検討部会の会議については、一般に公開するものとする。ただし、委員の承諾があれば、会議の一部又は全部を非公開とすることができる。

(意見の聴取等)

第8条 部会長は、検討部会の運営上必要があると認めるときは、関係者の出席を求め、その意見又は説明を聴くほか、資料の提出その他必要な協力を求めることができる。

(推進会議への報告)

第9条 検討部会は、会議内容を推進会議へ報告するものとする。

(守秘義務)

第10条 委員及び関係者は、検討部会の運営上知りえた秘密を厳守するとともに、これを他に利用してはならない。

(庶務)

第11条 検討部会の庶務は、健康福祉局健康推進課において処理する。

(委任)

第12条 この要綱に定めるもののほか、検討会の運営に関し必要な事項は、部会長が検討会の会議に諮って定める。

附 則

(施行期日)

この要綱は、令和3年3月23日から施行する。

附 則

(施行期日)

この要綱は、令和5年4月1日から施行する。

## 横浜市食育推進計画（第3期）の目標に関する取組（横浜市）

### 【取組の方向性】

横浜市食育推進計画（第3期）では、「『食』を通して健康と豊かな人間性を育み、活力ある横浜を創る」という「基本理念」を実現するため、「おいしく楽しい『食』や食環境づくりの推進が、市民一人ひとりの生涯を通じた健康を支える」、「食の多様性や横浜らしい食文化を継承し、食に関する持続可能な環境を整える」という2つの「基本目標」と、6つの「推進テーマ」を掲げています。

そして、横浜市民の食生活を取り巻く現状を踏まえ、6つの「推進テーマ」の中でも、「栄養バランスに配慮した食生活の推進」、「自然に健康になれる食環境づくり」を「重点テーマ」として位置付け、取組を進めています。

### ＜横浜市食育推進計画 推進テーマ・目標＞ (◎は重点テーマ)

推進テーマ	目標		
◎栄養バランスに配慮した食生活の推進	1	朝食を欠食する市民を減らす	
	2	栄養バランスに配慮した食生活を実践する市民を増やす	
	3	生活習慣病の予防や改善のために、ふだんから適正体重の維持を実践する市民を増やす	
何でもおいしく楽しく食べよう	4	朝食又は夕食を家族等と一緒に食べる「共食」の回数を増やす	
	5	よく噛んで食べることができる市民を増やす	
◎自然に健康になれる食環境づくり	6	食育に関心を持っている市民を増やす	
	7	食育の推進に関わるボランティアの数を増やす	
	8	健康への関心の有無にかかわらず、誰もが栄養バランスのよい食事を選択できる食環境を整える	
地産地消等の推進	9	学校給食における地場産物を活用した取組等を増やす	
	10	農林漁業体験を経験した市民を増やす	
	11	産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ市民を増やす	
日本の食文化の継承	12	地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を継承し、伝えている市民を増やす	
食の安全と環境に配慮した食育の推進	13	食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する市民を増やす	
	14	日頃から災害に備え、食料品等の備蓄に努める市民を増やす	
	15	環境に配慮した農林水産物・食品を選ぶ市民を増やす	
	16	食品ロス削減のために何らかの行動をしている市民を増やす	

### ＜ライフステージ＞

ライフステージ	
(1)	育ち・学びの世代（乳幼児期～青年期）
(2)	働き・子育て世代（成人・壮年期）
(3)	実りの世代（高齢期）
(4)	全世代

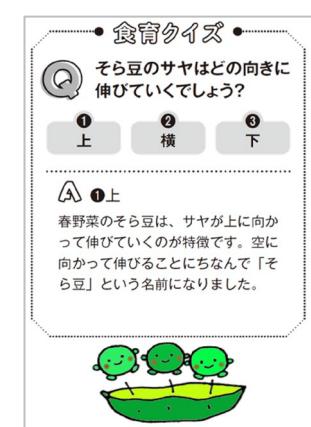
### 【主な取組実績】

○給食だより等を活用した保護者や小中学生等への啓発

（教育委員会事務局・こども青少年局）

【目標：1, 2, 5, 9, 12 / ライフステージ：(1)】

- ・「ぱくぱくだより」や食育動画を活用した食文化等の情報発信
- ・中学校全員給食に向けたメニュークールの実施
- ・市立保育所における給食だよりでの食育に関する情報発信



<保育所：給食だより 拔粋>

## ○乳幼児健診の場を活用した食育啓発（こども青少年局）

【目標：1, 2, 4, 5, 13 / ライフステージ：(1)】

- ・親子が集まる乳幼児健診の場で食生活・栄養に関する情報発信



<市場：児童による発表の様子>

## ○市場のプロによるアウトプット型授業（経済局）

【目標：6 / ライフステージ：(1)】

- ・小学生への出前講座（中央卸売市場）と受講した児童による発表を通じて食への理解と関心を促進

## ○「すぐすぐファーム横浜」による農体験事業（みどり環境局）

【目標：10 / ライフステージ：(1)】

- ・モデル地区を対象に3歳児健診会場で小松菜栽培キットの配布
- ・市内産農畜産物を使った収穫体験イベントの開催



<農体験：栽培キット配布に係るチラシ>

## ○食品ロス削減をテーマとした出前教室（資源循環局）

【目標：16 / ライフステージ：(1), (4)】

- ・保育園・小学校での出前教室、横浜F・マリノスと連携した啓発、区民まつり・イベントを通じて行動変容を促進



<食品ロス：出前教室の様子>

### 【各区・健康福祉局が連携した取組】

- ・ハマの元気ごはん提供店登録制度の周知、登録勧奨
- ・食生活健康相談
- ・乳幼児食生活健康相談、離乳食教室
- ・栄養バランスのよい食事の啓発及び健康教育
- ・ベジチェックを活用した食育啓発
- ・食生活等改善推進員養成支援
- ・給食施設指導による食環境づくり

【目標：8 / ライフステージ：(2), (3)】

【目標：1 / ライフステージ：(2), (3)】

【目標：1 / ライフステージ：(1), (2)】

【目標：2 / ライフステージ：(4)】

【目標：3 / ライフステージ：(4)】

【目標：7 / ライフステージ：(2), (3)】

【目標：8 / ライフステージ：(4)】



<ハマの元気ごはん登録マーク>

<ベジチェックを活用した食育啓発>

<栄養バランスのよい食事啓発リーフレット>

## 横浜市食育推進計画（第3期）の目標に関する取組

No	団体名	令和6年度以降の取組	令和6年度取組計画	令和6年度取組実績	令和7年度取組計画	ライフステージ			<基本目標1> おいしく楽しい食いと食環境づくりを推進し、市民の一人ひとりの生涯を通じた健康を支える。(健康増進、食の多様性や構造らしい食文化を継承し、食に開かれる持続可能な環境を整える。(社会・環境・食文化・食の安全と環境に配慮した食生活の推進)			<基本目標2> 食の多様性や構造らしい食文化を継承し、食に開かれる持続可能な環境を整える。(社会・環境・食文化・食の安全と環境に配慮した食生活の推進)					
						育ち・学びの世代	働き・子育て世代	まろいの世代	減朝食を欠食する市民を	民た栄養を増やす方法を実践する正直な市民の増加	暮らし改善のための食生活の改善	がよく食べる市民を増やす	る食育市民に開かれる地域で民食を食べるやさしさ	すう食育のアートの数開わるやさしさ	が良運をもたらす事業者や団体を増やす	作物栽培を始めた地場農家	た農市林漁業者を増やす
14	公益社団法人 神奈川県栄養士会	・（公財）かながわ健康財団主催の「健康チャレンジフェアかながわ」に参加生活習慣病予防対策を中心に展示、資料配布	・（公財）かながわ健康財団主催の「健康チャレンジフェアかながわ」に参加 测定等体験型ブース展示	・（公財）かながわ健康財団主催の「健康チャレンジフェアかながわ」に参加 ベジチック測定とアドバイス 歯科医師会、歯科衛生士会、神奈川県とオーラルフレイルに関するスタンプラリー実施1回 146人	・（公財）かながわ健康財団主催の「健康チャレンジフェアかながわ」に参加 测定等体験型ブース展示	●				●							
15	公益社団法人 神奈川県栄養士会	・神奈川県歯科医師会の後期高齢者歯科検診モデル事業「オーラルフレイル予防教室」栄養改善プログラムに協力（横須賀市、鎌倉市、三浦市。） ・横浜市歯科医師会の主催デンタルショーに参加予定 食育をテーマに展示ブースを設け、資料、レシピの配布を行う歯と口の健康週間行事に参加協力	・横浜市歯科医師会主催 歯と口の健康週間イベント後援会員に周知	・横浜市歯科医師会主催 歯と口の健康週間イベント後援会員に周知	・横浜市歯科医師会主催 歯と口の健康週間イベント後援会員に周知	●	●	●			●						
16	公益社団法人 神奈川県栄養士会	・「市民活動フェア」にて栄養士会第1県民活動事業部の活動紹介を行う 様々な世代に向けた食育活動について紹介 ・レシピ配布などの会場でのフェア参加とWEB配信 ・「こどもができる簡単料理レシピ集」を作成し、このレシピを使ったこども料理教室を開催	・「市民活動フェア」に出演 様々な世代に向けた食育活動について紹介会場での栄養相談 レシピ配布 「こどもができる簡単料理レシピ集」を使った料理教室を開催	・「市民活動フェア」に出演 実施1日間210人 様々な世代に向けた食育活動について紹介会場での栄養相談 レシピ配布 ・健康チャレンジフェア展示ブース ベジチック、歯科医師会とスタンプラリー実施1回 146人	・「市民活動フェア」、「健康チャレンジフェア」に出演 様々な世代に向けた食育活動について紹介会場での栄養相談 レシピ配布 「こどもができる簡単料理レシピ集」を使った料理教室を開催	●	●	●				●					
17	公益社団法人 神奈川県栄養士会	・横浜中央卸売市場発行 栄養士会監修の「とりわけ離乳食レシピブック」を使う離乳食教室を開催 横浜市内の子育て拠点、子育てサロン、子育て広場にてお魚を使わ離乳食料理を紹介する	・横浜中央卸売市場発行 栄養士会監修の「とりわけ離乳食レシピブック」を使う離乳食教室を開催 横浜市内の子育て拠点、子育てサロン、子育て広場にて開催する	・横浜中央卸売市場発行 栄養士会監修の「とりわけ離乳食レシピブック」を使うおさかな離乳食教室の開催 横浜市内の子育て拠点「中区のんびりっこ」、港北区子育て広場「ともとも」にて開催した。 実施4回 57組	・横浜中央卸売市場発行 栄養士会監修の「とりわけ離乳食レシピブック」を使う離乳食教室の開催 横浜市内の子育て拠点、子育てサロン、子育て広場にて開催する。	●									●		
18	公益社団法人 神奈川県栄養士会	・「かながわ食育フェスタ」に展示ブース参加し、特に親子向けにお箸の使い方を豆使いゲームなどを通して伝える	関連団体として横浜市への事業協力 ・「フレイル予防」 ・公衆衛生をテーマとしたイベント	関連団体として横浜市への事業協力 ・「フレイル予防栄養相談」神奈川区公会堂にて開催 実施回数1回 28人 ・公衆衛生をテーマとしたイベント ウエルネスポートヨコハマ ベジチェックと骨密度測定後栄養相談 実施回数1回 1,904名	関連団体として横浜市への事業協力 ・「フレイル予防」 【新規】高齢者向け料理教室開催 ・公衆衛生をテーマとしたイベント 【拡充】女性の健康づくりを視野に入れる。	●	●	●							●		
19	公益社団法人 神奈川県栄養士会	・かながわビッグレスキューへの展示 JDA-DAT（日本栄養士会並びに神奈川県栄養士会災害支援チーム）の活動周知を行った 横浜市防災計画関連機関として食を通した災害支援に協力 ・災害時の備蓄食品についての動画配信、パッククッキングの動画配信をYouTubeで行っている	・かながわビッグレスキューへの展示 横浜市防災計画関連機関として食を通した災害支援に協力 ・地域での防災イベントに参加 ・災害時の備蓄食品についての動画配信、パッククッキングの紹介	・かながわビッグレスキューへの展示 神奈川総合防災センターにて開催 実施回数1回 225人 ・横浜市防災計画関連機関として食を通した災害支援に協力 ・地域での防災イベントに参加 ・市民活動フェアでミニ講話を開催 災害備蓄食品、パッククッキングの紹介 実施回数1回 8人	・かながわビッグレスキューへの展示 横浜市防災計画関連機関として食を通した災害支援に協力 ・地域での防災イベントに参加 ・灾害備蓄食品、パッククッキングの紹介	●	●	●							●		
20	株式会社 崎陽軒	2005年に「つづき博士俱楽部」に登録し都筑区内の小学校にて「シウマイから学ぶ食べ物のかがく」の食育講座を提供。また市内中学校で12年間にわたり職業講座と製造体験を実施	2005年に「つづき博士俱楽部」に登録し都筑区内の小学校にて「シウマイから学ぶ食べ物のかがく」の食育講座を提供。また市内中学校で12年間にわたり職業講座と製造体験を実施	依頼を受けて対応	2005年に「つづき博士俱楽部」に登録し都筑区内の小学校にて「シウマイから学ぶ食べ物のかがく」の食育講座を提供。また市内中学校で12年間にわたり職業講座と製造体験を実施	●							●				
21	株式会社 崎陽軒	レストランにおいて産地の書かれたメニューを提供。市内でどれた小松菜を使用他。	レストランにおいて産地の書かれたメニューを提供。市内でどれた小松菜を使用他。	レストランにおいて産地の書かれたメニューを提供。市内産物でどれた小松菜を使用他。	レストランにおいて産地の書かれたメニューを提供。市内産物でどれた小松菜を使用他。	●	●	●							●		
22	株式会社 崎陽軒	西区、都筑区、戸塚区の食品衛生協会に所属し、区民祭りや 横浜市食品衛生協会の行事を通じ、食中毒予防の啓蒙活動、を毎年行っている	西区、都筑区、戸塚区の食品衛生協会に所属し、区民祭りや 横浜市食品衛生協会の行事を通じ、食中毒予防の啓蒙活動、を毎年行っている	スケジュール通り実施	西区、都筑区、戸塚区の食品衛生協会に所属し、区民祭りや 横浜市食品衛生協会の行事を通じ、食中毒予防の啓蒙活動を毎年行っている。	●	●	●							●		
23	株式会社 崎陽軒	・災害における炊き出しとしての製品（弁当類）の継続的提供や、「ローリンググストック法」の認知拡大のため、継続的にカタログ ・自社サイトにて、ローリングストック法を紹介。	・災害における炊き出しとしての製品（弁当類）の継続的提供や、「ローリンググストック法」の認知拡大のため、継続的にカタログ ・自社サイトにて、ローリングストック法を紹介。	計画通り実施	・災害における炊き出しとしての製品（弁当類）の継続的提供や、「ローリンググストック法」の認知拡大のため、継続的にカタログ ・自社サイトにて、ローリングストック法を紹介。	●	●	●							●		
24	株式会社 崎陽軒	生産工程で発生する規格外のサイズや形、余剰となってしまった食材などを使用した『横浜市×崎陽軒「もったいない」を見直そう弁当』、『横浜市×崎陽軒「もったいない」を見直そう弁当2』を発売し、市民の皆様に購入していただくことで食品ロス削減に取り組んでいただいた。	生産工程で発生する規格外のサイズや形、余剰となってしまった食材などを使用した『横浜市×崎陽軒「もったいない」を見直そう弁当』、『横浜市×崎陽軒「もったいない」を見直そう弁当2』を発売し、市民の皆様に購入していただくことで食品ロス削減に取り組んでいただいた。	依頼がなかったので未実施	生産工程で発生する食品ロスに関して資源化を中心取り組む。 ロス自体が出ないような、工程改善などを小集団活動を行う。 また、『横浜市×崎陽軒「もったいない」を見直そう弁当2』に関しては、取組依頼があれば対応。	●	●	●									●

No	団体名	令和6年度以降の取組	令和6年度取組計画	令和6年度取組実績	令和7年度取組計画	ライフステージ			<基本目標1> おいしく楽しい「食」や食環境づくりを推進し、市民の一人ひとりの生涯を通じた健康を支える。(健康増進・食の多様性や構造らしい食文化を継承し、食に関する持続可能な環境を整える。(社会・環境・食文化・食品安全と環境に配慮した食生活の推進)			<基本目標2> 食の多様性や構造らしい食文化を継承し、食に関する持続可能な環境を整える。(社会・環境・食文化・食品安全と環境に配慮した食生活の推進)							
						育ち・学びの世代	働き・子育て世代	まろいの世代	減朝食を欠食する市民を	見た栄養バランスを意識する正直な市民の増加	暮らし改善のための食生活の改善	食と朝ご一食の構造又は食事の量と質に変化	がよく食べる市民の増加	る食育市民の開拓や維持	すう食育アートの開拓による食文化の活性化	市販の食料品や農産物の供給	地産地消の推進		
25	横浜市場プロモーション委員会			市場隣接地にて、市場直送の食材を活用した飲食物を販売するイベントを開催。新鮮な市場食材を味わうことで食への興味関心を育む。	・市場隣接地にて、市場直送の食材を活用した飲食物を販売するイベントの開催 1回(約10,000人)	・市場隣接地にて、市場直送の食材を活用した飲食物を販売するイベントを開催。新鮮な市場食材を味わうことで食への興味関心を育む。	●	●					●		●				
26	はまふうどコンシェルジュ	旬の野菜を使った簡単な家庭料理の料理教室。旬の野菜についての豆知識を得たり、野菜を無駄なく使い切れる簡単なレシピを学んだりする講座。	旬の野菜を使った簡単な家庭料理の料理教室。旬の野菜についての豆知識を得たり、野菜を無駄なく使い切れる簡単なレシピを学んだりする講座。	旬の野菜を紹介しながら、丸ごと使い切れるレシピの講座。 実施回数3回(25人) ・小学校の栄養教諭向けに、給食で使える「豆料理」の講座。 実施回数1回(40人)	旬の野菜を使った簡単な家庭料理の料理教室。旬の野菜についての豆知識を得たり、野菜を無駄なく使い切れる簡単なレシピを学んだりする講座。	●							●		●				
27	はまふうどコンシェルジュ	ローリングストックを応用した簡単な家庭料理の料理教室。ローリングストックといつ方法や、それを使った簡単な料理を学ぶ講座	ローリングストックを応用した簡単な家庭料理の料理教室。ローリングストックといつ方法や、それを使った簡単な料理を学ぶ講座	・需要がなく、実施できませんでした。	ローリングストックを応用した簡単な家庭料理の料理教室。ローリングストックといつ方法や、それを使った簡単な料理を学ぶ講座	●	●	●								●			
28	はまふうどコンシェルジュ	「3R夢なクッキング講座」家庭の冷蔵庫の食品口スに目を向け、手作りドレッシングを作る料理教室	「3R夢なクッキング講座」家庭の冷蔵庫の食品口スに目を向け、手作りドレッシングを作る料理教室	・需要がなく、実施できませんでした。	【新規】港北区国際交流ラウンジにて、季節に応じた食育講座を開催。 (6年度も数回実施済み)	●	●	●									●		
29	はまふうどコンシェルジュ	・生活習慣病健診や人間ドックを推進し、若い世代の健診受診率向上を図る運動を展開 ・JAグループである厚生連と連携し、生活習慣病健診や人間ドックを推進し、病気等の早期発見につとめる。	横浜市泉区の一般社団法人かけはしにて、月1回【作って食べよう】という食育講座を開催 (5月から活動中)	・季節に応じたテーマを設け、開催。 実施回数10回(80~100人)	横浜市泉区の一般社団法人かけはしにて、【作って食べよう】の食育講座を開催。 (担当が変わったため不定期開催予定)	●	●		●		●	●	●						
30	ユカナガシマ・クッキングサロン	部活動の生徒や居場所作りカフェ、食育講座において、朝食や栄養バランスを含めた食育啓発を行う。	中学校・高校の部活動の生徒や高校生の居場所作りカフェ、中学校夜間学級での食育講座などにおいて、朝食や栄養バランスを含めた食育啓発を行う。また、子ども食堂などの地域に根ざした活動へのサポートにも力を入れる。	発達段階に応じ、児童生徒～高校生。指導者を含め、その時々の環境に合わせた接種の仕方などを伝えるとともに、自ら実践できるように興味関心を持ってもらう。	【拡充】学校や居場所づくり事業など一定の場所に来れる児童生徒だけにとどまらず、各種専門性や地域の見守り支援などを行っている団体と協力し、学校の理解を得ながら、不登校児童生徒への「食」の関心を持たせ、自らのちからで一步踏み出せる機会・場を作る。	●			●	●	●	●	●			●	●	●	●
31	ユカナガシマ・クッキングサロン	日々の活動をアピールすることで共感者を増やす。誰でも参加できるように、ボランティア内容は多岐にわたることを明示する。どんなことでも、「食」が心を豊かにすることを伝えることで、ボランティア自身が心豊かになることなどを伝える。	日々の活動をアピールすることで共感者を増やす。誰でも参加できるように、ボランティア内容は多岐にわたることを明示する。どんなことでも、「食」が心を豊かにすることを伝えるために、多様な場所・人々と交流を持つ。	積極的にボランティア希望者が増加している。特別な宣伝はしていないが、ボランティアを希望者は潜在的にいることがわかる	【拡充】ボランティア希望者には、ただそこには手伝うのではなく、『食』「人」への関わり方などの知識・スキルアップが徐々にできるように、きめ細かなコーディネートが求められると考える。	●	●	●	●	●	●	●	●	●					
32	ユカナガシマ・クッキングサロン	人それぞれ環境が違うことを知ることで、出来ることや行えることは違ってくる。その場に応じた最善の知識と、適切な行動ができるような理解者・企業そして場所を確保するように進めいく。あらゆる年齢に対応できるような、データ資料作りをすすめる	人それぞれ環境が違うことを知ることで、出来ることや行えることは違ってくる。その場に応じた最善の知識と、適切な行動ができるような理解者・企業そして場所を確保するように進めいく。あらゆる年齢に対応できるような、データ資料作りをすすめ流とともに、できる人を育てる。	データの蓄積は、日々の積み重ねで行えている。	【拡充】積み重ねたデータと上記スキルアップなどを共有していきることが、「食」の底上げにつながると考える	●	●	●							●				
33	ユカナガシマ・クッキングサロン	食農体験として、実践しているが、限られた学校だけではなく、拡大していく→横浜総合高校に加え、戸塚高校定時制などに進めたことに加え、身時から取り組みたいと思える様な仕掛け・仕組みをつくり、農業体験などを経験することが、キャリア支援につながるよに伝える。	食農体験として、実践を横浜総合高校に加え、戸塚高校定時制などに進めたことに加え、身時から取り組みたいと思える様な仕掛け・仕組みをつくり、農業体験などを経験することが、キャリア支援につながるよに伝える。	学校により体験事業への興味関心度に温度差があるため、一律に同じのことを行うことには難しいが、教職員などの十分な話し合いや目的の共有などを伝えていくことで、新たな方向性もみえてきた。	【拡充】さらに生徒が自ら考え行動できるようにするための、仕組みもしくは組織作り	●										●			
34	ユカナガシマ・クッキングサロン	10の取り組みを進める中で、自ら食材・食品を知り、知ろうとする学ぶ姿勢を育て、自らの健康や他者への思いやりにつながる大人に育てる。	10の取り組みを進める中で、自ら食材・食品を知り、知ろうとする学ぶ姿勢を育て、自らの健康や他者への思いやりにつながる大人に育てる。	目的を持つことで、児童生徒に限らず大人も自分に必要な学び・知識を習得しようという意思は働く。きっかけや環境をより柔軟に考えるとより良い方向に進んでいけると思う。	【拡充】さまざまなチャンスに活かすためのツール作り。また、関係機関との連携のはかりかたのグレードアップ。	●										●			
35	ユカナガシマ・クッキングサロン	日々の生活の中での当たり前のことが「食」とつながり、さまざまつながりを形成していることを、講座や講演・コラムなどの中で伝えていく。	日々の生活の中での当たり前のことが「食」とつながり、さまざまつながりを形成していることを、講座や講演・コラムなどをさらに、拡充する。	経年にわたる継続した活動の中で、その変化を感じることがある。もしくは報告を受けることがある。日々の積み重ねが必須であることを強く感じた。	【拡充】広報の仕方を改めて構築する。今行なっている、よこはまスマイルさんとの共催事業の弁当コンクールものその一つですが、規模は小さくても、他にもコンクール形式を試みる。	●	●	●								●			



No	団体名	令和6年度以降の取組	令和6年度取組計画	令和6年度取組実績	令和7年度取組計画	ライフステージ			<基本目標1> おいしく楽しい食事や食環境づくりを推進、市民の一人ひとりの生涯を通じた健康を支える。(健康増進、栄養バランスに配慮した食生活の推進)			<基本目標2> 食の多様性や地場らしい食文化を継承し、食に関する持続可能な環境を整える。(社会・環境・食文化・食品安全と環境に配慮した食育の推進)						
						育ち・学びの世代	働き・子育て世代	まろいの世代	減朝食を欠食する市民を	見た栄養バランスを意識する正直な市民の意識	暮らし改善のための食生活を改めようとする市民の意識	食と朝食の組合せで食生活を改善する市民の意識	がよく食べる市民の意識	る食育市民に開かれた地域活性化の意識	すう食育の意識の数値を増やす	るが良きもできる市民の意識	を育む校舎を活用して地元の活性化の意識	選て産地市林漁業者による地場産物の販売
44	公益財団法人 よこはま学校食育財団	・親子料理教室は、調理実習と食育講座を組み合わせて開催している。学校給食でないものがある食品を使って料理を作ったり、食品の知識を深めたりすることで家庭料理のレパートリーを広げ、より栄養バランスに配慮した食事ができるように引き続き支援する。 ・財団ホームページを活用した情報発信により、学校給食を通して栄養バランスに配慮した食事の在り方を伝える。	【親子料理教室】 ・7月、10月、11月に給食の人気メニュー（チリコンカーン、ペイスターズ青星寮カレーなど）作りを実施する。 ・8月に給食のパン業者を講師にパン作りを実施 ・2月に給食物資取扱業者を講師に魚をさばき、調理する料理教室を実施する。 【財団ホームページ】 給食献立のレシピを公開し、家庭で作った給食の料理を投稿するコーナーを継続する。（2025年6月現在、投稿数360）	【親子料理教室】 ・前年の年間4回実施を5回に増やして実施した。 ・7月、10月、11月に給食の人気メニュー、8月に給食のパン業者を講師にパン作りを実施。 ・予定年間実施回数は5回 ・調理実習と食育講座を組み合わせて開催し、学校給食でないものがある食品を使って料理を作ったり、食品の知識を深めたりすることで家庭料理のレパートリーを広げ、より栄養バランスに配慮した食事ができるように引き続き支援する。 【財団ホームページ】 給食献立のレシピを公開し、家庭で作った給食の料理を投稿するコーナーを継続する。	● ● ●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
45	公益財団法人 よこはま学校食育財団	学校が開催する給食試食会に財団職員を派遣し、保護者が学校給食の物資調達や食の安全、栄養バランスが良い献立作りなどについて理解を深めることができるように引き続き支援する。	【試食会支援プロジェクト】 学校の要請に基づき職員を派遣する。	【試食会支援プロジェクト】 学校の要請に基づき職員を派遣した。年間で36校の要請があった。 【食育教室】 小学校2校、外部団体1社の要請に基づき、食育教室を実施した。	【試食会支援プロジェクト】 学校が開催する給食試食会に財団職員を派遣し、保護者が学校給食の物資調達や食の安全、栄養バランスが良い献立作りなどについて理解を深めることができるように引き続き支援する。 ・予定支援校数は年間約20校 【食育教室】 ・学校や外部団体からの要請に基づいて食育教室を支援する。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
46	公益財団法人 よこはま学校食育財団	横浜市、JAと連携し、年に一度一斉に市内産野菜を購入して学校給食に提供する。	【市内産野菜の一斉供給】 11月に4プロックに分けて市内産キャベツ供給する。令和6年度はタンタンスープの献立に使用する。	【市内産野菜の一斉供給】 11月に4プロックに分けて市内産キャベツ供給した。 ・小学校、義務教育学校、特別支援学校の332校に供給（日頃から近隣農家から購入している学校を除く）	【市内産野菜の一斉供給】 ・横浜市、JAと連携し、年に一度一斉に市内産野菜を購入して学校給食に提供する。 ・予定品目はキャベツ、予定期供給対象は小学校、義務教育学校、特別支援学校の最大348校	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
47	公益財団法人 よこはま学校食育財団	財団ホームページに年中行事と食事に関する食育記事を掲載し、家庭の食事の参考にしたり、学校の職員が給食だより等に活用できたりする情報を提供している。	【財団ホームページ】 年中行事と食事に関する食育記事を継続して掲載する。	【財団ホームページ】 年中行事と食事に関する食育記事を継続して掲載した。	【財団ホームページ】 財団ホームページに年中行事と食事に関する食育記事を掲載し、家庭の食事の参考にしたり、学校の職員が給食だより等に活用できたりする情報を提供する。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
48	公益財団法人 よこはま学校食育財団	・給食物資納入業者を講師に招き、調理従事者を対象にした食材塾を引き続き開催する。	【食材塾】 8月に牛乳業者、2月に青果業者を講師に迎え、食品の知識や流通等の知識や理解を深めることを目的とした研修会を開催する。	【食材塾】 食品の知識や流通等の知識や理解を深めることを目的として、8月と2月に研修会を開催し、小学校の給食調理員、栄養教諭、学校栄養職員、教諭等を対象にした食材塾を引き続き開催する。 ・予定年間実施回数は2回	【食材塾】 ・給食物資納入業者を講師に招き、小学校の給食調理員、栄養教諭、学校栄養職員、教諭等を対象にした食材塾を引き続き開催する。 ・予定年間実施回数は2回	● ●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
49	横浜市食生活等改善推進員協議会	活動を通じて、「1日3食、栄養バランスよく食べる」「野菜たっぷり食べる（1日350g）」「口から食べる」等について伝える	活動を通じて、「1日3食、栄養バランスよく食べる」「野菜たっぷり食べる（1日350g）」「口から食べる」等について伝える	・横浜市委託事業の行動目標に据えて、全世代で啓発を実施 育ち・学びの世代 18区合計36回実施 1,247人に啓発 働き・子育て世代 18区合計36回実施 720人啓発予定 18区合計36回実施 676人に啓発 実りの世代 18区合計36回実施 720人啓発予定 18区合計36回実施 731人に啓発	・横浜市委託事業の行動目標に据えて、全世代で啓発を実施 育ち・学びの世代 18区合計36回実施 720人啓発予定 働き・子育て世代 18区合計36回実施 720人啓発予定 実りの世代 18区合計36回実施 720人啓発予定 【拡充】働き・子育て世代、実りの世代中に「自然災害等の「もしも」の健康リスクに備える」を行動目標に据えて、食料品等の備蓄に努める市民を増やす啓発活動をする。 18区合計36回実施 1,440人に啓発予定	● ● ● ● ● ●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
50	横浜市食生活等改善推進員協議会	活動を通じて、「適正体重を維持」について伝える	活動を通じて、「適正体重を維持」について伝える	活動を通じて、「適正体重を維持」について伝える	【拡充】働き・子育て世代、実りの世代中に「自然災害等の「もしも」の健康リスクに備える」を行動目標に据えて、食料品等の備蓄に努める市民を増やす啓発活動をする。 18区合計36回実施 1,440人に啓発予定	● ● ● ● ● ●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
51	横浜市食生活等改善推進員協議会	活動を通じて、家族と食事をすることは、楽しいことを伝える。	活動を通じて、家族と食事をすることは、楽しいことを伝える。	・全世代において啓発活動を実施 集会形式 18区合計1,592回実施 36,105人に啓発 個人活動 18区合計4,055回実施 13,027人に啓発	・全世代において啓発活動を実施予定 集会形式・個人活動合わせて令和6年度並予定	● ● ● ● ● ●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
52	横浜市食生活等改善推進員協議会	・活動を通じて、食育について啓発を行う	・活動を通じて、食育について啓発を行う	・各区栄養士によるヘルスマイト育成教育に各区ヘルスマイトが参加し、活動の説明、質問に答える活動をした。 18区合計36回実施、延べ526人のヘルスマイトが関わった。	・実施事業内で各区活動の紹介、各区栄養士によるヘルスマイト育成教育に協力し、不安なく活動が始められるよう、各区工夫していく。	● ● ● ● ● ●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
53	横浜市食生活等改善推進員協議会	・「私たちの健康は私たちの手で」というヘルスマイトの考え方を啓発活動等を通して市民に伝え、仲間を増やす基礎にする	・「私たちの健康は私たちの手で」というヘルスマイトの考え方を啓発活動等を通して市民に伝え、仲間を増やす基礎にする															

# ハマの元気ごはん提供店登録制度 の取組

2025年7月



健康に望ましい行動を取りやすくする環境づくり

## 食環境づくり

- ・健康に関心が薄い人、関心を持つ余裕がない人は、自ら健康的な食事を選ぶことが難しい状況です。
- ・誰もが健康に必要な食事の内容と量を自然に選択できるようになるためには、食品関連事業者等とともに、商品の開発や選択できる環境を整えることが必要です。

### 取組内容

産学官が連携し、健康への関心の有無にかかわらず、誰もが健康的な食事ができる食環境づくりを推進します。  
食環境づくりの枠組みを整備します。  
食品関連事業者向けPR及び研修会等を開催します。



#### 主な指標

栄養バランスのよい食事を選択できる環境づくりに資する取組を行っている店舗数

#### 直近値

64店舗  
(R6(2024)年度)

#### 目標値

145店舗以上  
(R14(2032)年度)

## 登録メニューの基準とロゴマーク



### ハマの元気ごはんR(レギュラー)



「ちゃんと」食べたい  
一般女性やご高齢の方向け

#### ●ハマの元気ごはん R (レギュラー)

	エネルギー	タイプ		
		A	B	C
エネルギー	450~650kcal 未満	●	●	●
主食	ご飯 150~180g	●	●	●
主菜 (肉・魚・卵・大豆製品)	必ず入れてください。 量の基準はありません。	●	●	●
副菜 (野菜・いも・きのこ・海藻・ こんにゃくの重量)	140g 以上	●	●	
	70g 以上			●
脂質エネルギー比	20~30%	●		
食塩相当量	3.0g 未満	●		

### ハマの元気ごはんL(ラージ)



「しっかり」食べたい男性や  
身体活動量の高い女性の方向け

#### ●ハマの元気ごはん L (ラージ)

	エネルギー	タイプ		
		A	B	C
エネルギー	650~850kcal	●	●	●
主食	ご飯 150~200g	●	●	●
主菜 (肉・魚・卵・大豆製品)	必ず入れてください。 量の基準はありません。	●	●	●
副菜 (野菜・いも・きのこ・海藻・ こんにゃくの重量)	140g 以上	●	●	
	70g 以上			●
脂質エネルギー比	20~30%	●		
食塩相当量	3.5g 未満	●		

3

## 登録店舗一覧（令和7年6月4日現在）



番号	店舗名称	登録要件	登録メニュー名	店舗数
1	そうてつローゼン	L-A	ハマの元気ごはん弁当	市内26店舗
2	イオン・イオンリテール	R-C	ハマの元気ごはん弁当	市内11店舗
3	イトーヨーカドー・ヨークフーズ	R-C	チキンと野菜の十八穀ごはん弁当	市内8店舗
4	イトーヨーカドー・ヨークフーズ	R-C	白身魚の天ぷらと野菜の十八穀ごはん弁当	市内8店舗
5	フィオーレ	L-C	ステーキ ガーリックライス	
6	カフェレストラン洗濯船	L-B	牛たんシチューSET	
7	FUJI Petit Marché FUJI	R-A	ハマの元気ごはん弁当	市内16店舗
8	JA全農Aコープ	R-A	ハマの元気ごはん弁当	市内4店舗
9	レストランシン	L-C	しょうが焼き（中盛ライス）	
10	Deli&Cafe メルヘン	R-C	蒸し鶏とサラダのお弁当	
11	特定非営利活動法人 コミュニティーサロン 釜利谷ふれあいカフェ	R-C	日替わり弁当	

登録店舗数：70店舗

内訳：  
食品スーパー65店舗  
(5事業者)  
飲食店5店舗  
(5事業者)

4

<p><b>登録店舗&amp;お弁当メニュー紹介</b></p> <p><b>Super Market</b></p> 	<p>イオン・イオンスタイル (11店舗)</p> <p>ハマの元気ごはん弁当 タイプ:R-C</p> 	<p>イトーヨーカドー・ヨークフーズ(8店舗)</p> <p>チキンと野菜の十八穀ごはん弁当 タイプ:R-C</p> <p>白身魚の天ぷらと野菜の十八穀ごはん弁当 タイプ:R-C</p> 	<p>Aコープ (4店舗)</p> <p>ハマの元気ごはん弁当 タイプ:R-A</p> 
<p>そうてつローゼン (26店舗) ハマの元気ごはん弁当 タイプ:L-A</p> 	<p>FUJI・Petit Marché FUJI (16店舗)</p> <p>ハマの元気ごはん弁当 タイプ:R-A</p> 	<p><b>登録飲食店&amp;メニュー紹介</b></p> <p><b>Restaurant</b></p> 	<p>カフェレストラン 洋濯船(磯子区)</p>  <p>牛たんシチューセット タイプ:L-B</p>
<p>Deli&amp;Cafe メルヘン(金沢区)</p>  <p>蒸し鶏とサラダのお弁当 タイプ:R-C</p>	<p>釜利谷ふれあいカフェ(金沢区)</p>  <p>日替わり弁当(メニュー例) タイプ:R-C</p>	<p>フィオーレ(戸塚区)</p>  <p>ステーキ ガーリックライス タイプ:L-C</p>	<p>レストランシン(磯子区)</p>  <p>しょうが焼き(中盛ライス) タイプ:L-C</p>

## 令和7年度の取組について



### (1) 食品関連事業者に向けた制度説明・新規登録勧奨

<p>健康福祉局</p>	<p><b>中食・外食のチェーン店等を対象に登録勧奨を継続</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・横浜市内のスーパー、アウトパック業者への登録勧奨</li> <li>・外食チェーン店への登録勧奨</li> <li>・協定締結企業と連携した勧奨</li> </ul>
<p>18区役所 (福祉保健課)</p>	<p><b>区内の飲食店を対象に登録勧奨を開始</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の取組を活用し、登録勧奨</li> <li>・区民からのおすすめ店への登録勧奨</li> <li>・食品衛生講習会等における制度説明及び登録勧奨</li> </ul>

# 令和7年度の取組について



## (2) 市民への広報

制度や登録店舗の情報を、店舗マップや料理の写真などを用いて、分かりやすく魅力的に伝える。店舗にとっても、登録するメリットを感じてもらえるような広報を検討する。



// 店舗情報を発信します //

Instagram



## (3) 飲食店をターゲットとした効果的な登録勧奨の手法の検討

7

## (4) 共創フロントによる事業者募集



横浜市から民間事業者へ連携により解決したい行政課題(=テーマ)を示し、そのテーマに対する公民連携事業の提案やアイデア等を募集する仕組み



### 募集テーマ

「ハマの元気ごはん提供店」登録制度を活用した食環境づくりの推進の取組の提案

6月上旬からホームページに掲載

テーマ一覧のNo.215になります

| 防災・救急 | くらし・手続き | 子育て・教育 | 健康・医療・福祉 | 観光・イベント | ビジネス | 市政情報 |

現在位置 横浜市トップページ > ビジネス > 共創の取組 > 対話の場 > 共創フロント > 共創フロント詳細 > テーマ型共創フロント

最終更新日 2025年5月13日

### テーマ型共創フロント

#### 募集中のテーマ一覧

横浜市の各部署から、さまざまなテーマについて民間の皆様からの提案を募集しています。  
ご提案をお考えの際は、所定の提案様式(ワード:20KB)を各担当課(各テーマの詳細内容に記載)へご提出ください。



横浜市

区役所 | Language | コールセンター | チャットボット | Google 検索 | 検索

No.	募集テーマ ※クリックで詳細 PDFへ	概要	募集期間	参考資料・関連リンク
213	<a href="#">粗大プラスチック製衣装ケースのリサイクル実証実験についての提案 (PDF: 216KB)</a>	現在、粗大ごみとして収集し焼却処理している、「プラスチック製の衣装ケースのリサイクルの実証実験」にご協力いただける事業者を募集します。	令和7年4月1日(火) ～ 令和7年5月30日(金)	<a href="#">実証実験イメージ(PDF: 359KB)</a> <a href="#">令和7年度資源循環品工首紙裏※P5に当該事業に関する記載あり</a>

【URL】 <https://www.city.yokohama.lg.jp/business/kyoso/kyosofront/front/syousai/theme-front.html>

8